

平成 31 年 1 月 21 日

各位

株式会社リボミック

(コード番号 : 4591 東証マザーズ)

RBM-007 を用いた加齢黄斑変性症治療薬開発に関して ワシントン大学医学部教授の Rajendra Apte 博士と コンサルティング契約を締結

この度、当社はワシントン大学医学部セントルイス校の眼科学・視覚科学の医師であるラジェンドラ・アプテ教授 (Rajendra S Apte, MD, PhD.) とコンサルティング契約を結んだことをごお知らせします。アプテ博士には、科学顧問として、その専門的知見を活かし、現在臨床試験中の RBM-007 の加齢黄斑変性症治療薬としての設計と評価に関する助言を行っていただきます。

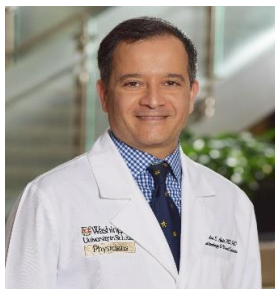
【当社代表取締役社長中村義一のコメント】

アプテ教授は、臨床医として網膜疾患治療の第一人者であるというだけでなく、網膜の免疫機能の解明にも力を注いでいる一流の臨床科学者です。アプテ博士は最近、RBM-007 がターゲットとする FGF2 が、網膜異常に関与していることを発見しており、共通の科学的基盤に基づいて協力できることは、素晴らしいことだと考えています。

【アプテ博士のコメント】

加齢黄斑変性症のような失明をもたらす病において、視力回復機能を高めることを目的に、既存の治療戦略を補完する新しい治療法の開発するため、リボミック社の優れた科学者たちに助言できることを喜ばしく、また光栄に思います。

【ラジェンドラ・アプテ教授 (Rajendra S Apte, MD, PhD.) の経歴】



アプテ博士は、ワシントン大学医学部セントルイス校の眼科学・視覚科学の教授 (the Paul A. Cibis Distinguished Professor) 兼、トランスレーショナルリサーチおよびジェフリーフォート・イノベーションファンドのディレクターであり、加齢黄斑変性症、網膜血管異常、網膜硝子体手術などを専門としている。インドのボンベイ大学で医学の学位を取得後、テキサス大学

サウスウエスタン医療センター（テキサス州ダラス）の免疫学で博士号を取得し、UT サウスウエスタンメディカルセンター眼科学での臨床研修、そしてメリーランド州ボルチモアのジョンズホプキンス大学ウィルマー眼科研究所における 網膜硝子体手術の専門医研修修了を経て、ワシントン大学医学部に着任した。

アプテ博士は、数多くの賞や奨学金を授与されている。同博士は、米国網膜学会（American Society of Retina Specialists）における若手研究者賞の最初の受賞者であり、近年も多くの賞を与えられている（European Vision and Eye Research Certificate of Honor and Keynote Lecture, J. Wayne Streilein Distinguished Alumnus Award Lecture in Immunology, Macula Society W. Richard Green Award, Glenn Award for Research in Biological Mechanisms of Aging, RPB Nelson Trust Award, Sybil B. Harrington RPB Physician-Scientist Award, Carl Camras ARVO Translational Research Award, the Macula Society Young Investigator Award, AFAR Julie Martin Mid-Career Award in Aging Research, the Macula Society Retina Research Foundation Cox Research Award, the American Retina Foundation Research Award, and the Research to Prevent Blindness Career Development Award.）。

アプテ博士の論文は 120 報を超える。

以上

【本件に関するお問い合わせ先：経営企画部 03-3440-3745】